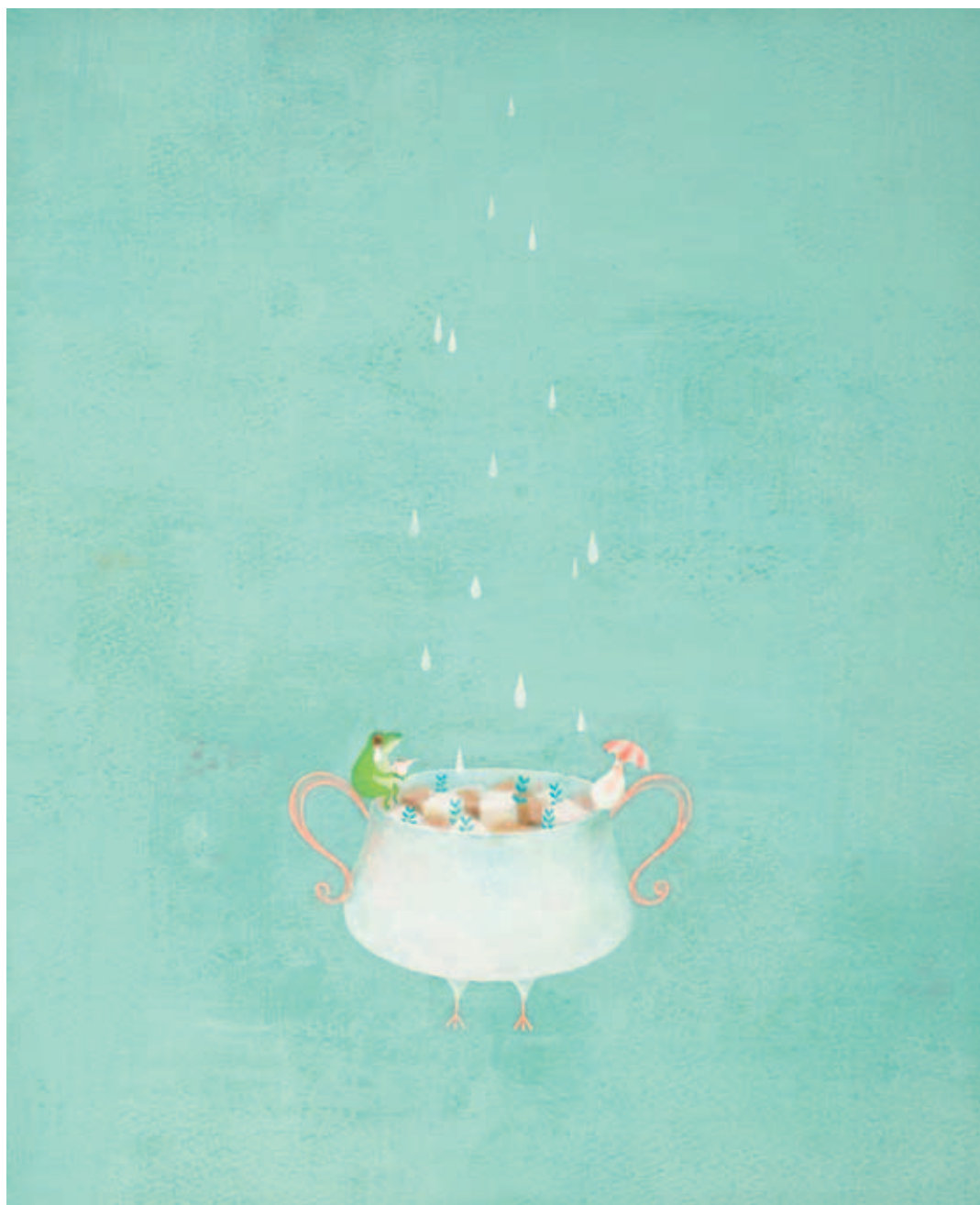


石川県七尾美術館だより

平成24年10月1日発行
編集・発行 石川県七尾美術館

第71号（秋号）



ISHIKAWA
NANAO
ART MUSEUM



2012イタリア・ボローニャ
国際絵本原画展

「まほうつかいうさぎと100のコーヒー」
刀根 里衣（日本）

展覧会紹介

平成24年10月2日(火) ~ 12月28日(金)

休館日については裏表紙をご覧ください

「2012イタリア・ボローニャ

国際絵本原画展」

11月9日(金) ~ 12月16日(日)

〔会期中無休〕

◆第1・第2・第3展示室

「ボローニャ・ブックフェア」は毎年春にイタリア北部の古都ボローニャ市で開催されている世界で唯一の児童書専門見本市です。1964年に始まったこのブックフェアには、世界中の出版社が集まり、絵本の版權売買などがなされています。そのため、会場には世界中の優れた絵本やイラストを求める編集者と、絵本の世界へ飛び込みたい沢山の無名イラストレーターたちが集まってきました。ここで両者が出会い、毎年新しい絵本作家が生まれ、たくさんさんの絵本が世界へ旅立ちます。

1967年にはイラストレーターに作品発表の機会を設けるため「子どもの本のための原画コンクール」が始まりました。フィクション(物語のイラスト)とノンフィクション(図鑑などのイラスト)の2部門で、5枚1組のイラストを審査するもので、16歳以上の誰でも応募でき、



「島にこぶし」のためのスケッチ
ピオレータ・ロピス(スペイン)



「赤ずきんちゃん/黒と赤」
アレハンドラ・パルバ(メキシコ)

出版経験のあるなしにかかわらず公平に審査されることから、新人イラストレーターの登竜門としても注目されています。ヨーロッパのみならず世界中から集まった応募作品は、5人のメンバーで構成される国際審査団によって審査されます。審査員は毎年代わり、職業も国籍も異なるそれぞれの専門家の視点で、確かな技術力、独創性、新しい可能性を持った作品を選びだしています。

絵本はイラスト、文章、活字、レイアウト、版型、印刷方法など様々な要素で構成されます。コンクールではこの中からイラストの持つ力が審査されます。優れたイラストはページをめくるたびに、文章では表現できない、読者の想像を超えた沢山の物語を教えてください。

今年の審査員は、荒井良二(絵本作家/日本)、キアラ・カッレール(イラストレーター/イタリア)、アンヌ・ロール・コニエ(国立児童専門図書館/フランス)、マダレーナ・クウォシ(ヴィトフルニャ出版社/ポーランド)、エリザベス・ウッド(ウオーカーブックス出版/イギリス)でした。彼らは世界60カ国、2685組の応募作品から日本人7名を含む、19カ国、72組の作品を選び出しました。そのどれもがバラエティ豊かで個性溢れる作品ばかりです。

本展覧



「最後の一葉」
マリナ・マルコリン(イタリア)



「ニーム・マン・ブーグ」
アリレザ・ゴルドゥズイヤン(イラン)

【特別展示】
今年の特別展示はページ・チュウ。1978年台湾に生まれ、イギリスのロイヤル・カレッジ・オブ・アートで学び、現在はロンドンと台湾を拠点に活動しています。2008、10、11年とボローニャ展に3度入選し、2010年にボローニャ・ブックフェアとスペインの



「鉛の兵隊」

新しい作家との出会いの場であり、新しい自分を発見する場でもあるのです。そして、入選を目指す皆さんへ。2013年度の募集は今年の10月1日で終了しましたが、2014年度のボローニャ国際絵本原画展への道はこれからです!!



「イソップ物語」
今井 彩乃(日本)



「はたらくるま: 工事車両」
小輪瀬 譲安(日本)

S M財団が創設した「ボローニャS M出版賞」の第2回受賞者となりました。受賞者は35歳以下のボローニャ展入選者から選ばれ、賞金3万ドルとS M出版が提示したテーマでの絵本出版が約束されます。ペイジ・チューに与えられたのは『鉛の兵隊』。絵本作家デビューとなったチュー版『鉛の兵隊』の原画に加え、過去のボローニャ展入選作、新シリーズのイラストを紹介しします。

【アニエラル（図録）表紙】

本展の図録の表紙は2011ブラティスラヴァ世界絵本原画展グランプリのチョ・ウンヨン（韓国）です。力強く躍動感のある図録表紙の原画2点を展示します。



「2012アニエラル表紙」

【映像コーナー】

今年1月に行われたボローニャ展作品審査会、3月に開催されたブックフェアの様子に、審査員や入選作家へのインタビューを交えて紹介します。

【絵本コーナー】

展示作品や入選作家の絵本、ボローニャ・ブックフェアでラガッツィ賞を受賞した世界の絵本、おすすめ絵本など約100冊をご覧いただけます。

●●●●ボローニャ展関連イベント●●●●

☆絵本アニメ上映会☆【入場無料】

世界の名作絵本アニメを上映します。絵本に登場するキャラクターがスクリーンを動き回ります。

開催日 11/10（土）、17（土）、23（金・祝）、24（土）、12/1（土）、8（土）、15（土）

※11/23は午前のみ

時間 11:00～11:40、13:00～13:40
会場 アートホール

☆かんたん絵本を作ろうよ！☆【要観覧券】

いなくなつたポスターやカレンダーなどの裏面を利用して冊子を作り、ストーリーを考え、自由に飾りつけてオリジナル絵本を作ります。

日時 会期中毎週土・日曜日、14:00～16:00
対象 4歳～小学生（未就学児は保護者同伴）
定員 各日10名（要申込、先着順）
持ち物 不要なポスターなど
協力 絵本の会 もこもこ
会場 展示室内

☆「のまりん」の紙芝居劇場☆【入場無料】

紙芝居の前に座ると、大人も子どももワクワクドキドキ。世界で紙芝居の魅力を伝える「のまりん」の豊かな表現をお楽しみください。

開催日 11/18（日）
時間 11:00～11:40、13:00～13:40
出演 のまりん（野間成之氏）
会場 アートホール

☆ナイトミュージアム☆【要観覧券】

いつもは「お静かに」と注意される展示室。でも「子どもと一緒に話しながら鑑賞したい」と思っている家族のための時間です。

日時 11/23（金・祝）、17:00～20:00
対象 高校生以下の子どもを含む家族
定員 10家族（要申込、先着順）
※展示室が若干賑やかになる可能性があります

☆おはなし劇場☆【要観覧券】

絵本の読み聞かせや、人形劇、パネルシアターの上演で、皆さんを物語の世界へご招待します。簡単な手作りコーナーもあります。

開催日 12/9（日）
時間 10:30～11:30、13:00～14:00
協力 NPO法人 ぽっかぽか
会場 休憩コーナー

申込み受付は10/27（土）9:00より電話にて

★新製品登場！ボローニャ展グッズ★

図録やポストカードをはじめ、入選作家の絵本や輸入絵本などを販売。ポストカード（50円）の絵柄は16種類あつて目移りしそう……定番のクリアファイルも販売します。また、新製品として、ボローニャブックフェアロゴ入りバッグ（1,050円）が登場。特別展示の作家ペイジ・チューのオリジナルTシャツ（3種類）も！
人気商品は会期終了前に売り切れてしまうこともありますのでお早めどうぞ。



ほかにもいろいろ...

★おすすめメニュー＆プレゼント★

展覧会を楽しんだあとは、テイルルームでゆっくりティータイムを。おすすめは、あつたかドリंक「ホットチョココレート」（350円）豆乳+チョコレートのやさしい甘さ、カップもキュート。
また、セットメニューご注文の方には、本展出品作品をモチーフにしたペーパーコースターをプレゼント！



ホットチョココレート



どちらか1枚プレゼント

◇観覧料

	一般	個人	団体
大高生	800円	700円	3000円
	3500円		

※中学生以下無料・団体は20名以上です。

日本画家・中町 進展

「うつろいゆく自然、そして街なみ」
9月22日（土・祝）〔開催中〕～10月28日（日）

◆第2展示室

中町進氏は昭和5年（1930）、輪島市に生まれました。日本画家を志して昭和27年に金沢美術工芸短期大学（現・金沢美術工芸大学）を卒業、本格的に画家として始動します。昭和29年に「山の田」が日展で初入選、さらに同30年・32年に現代美術展で最高賞を受賞するなど活躍し、32年には池田遥邨（1859～1988）に師事して青塔社塾生となりました。

それは氏に大きな影響を与え、遥邨の機知的な構成や詩的な色彩表現といった手法を取り入れることによって、画風はさらに深みを増してゆきます。また、何度もスケッチをしたという師に学び、氏も納得のいくまでスケッチを重ね、独自の表現を確立していきました。

氏の作風は時代に応じて変化しており、何期かに大別できます。昭和30年代は「黒の時代」。抽象芸術が流行したこの頃、氏もその影響を受け、黒を基調とした強いタッチで金沢の街などを表現しています。そして「青の時代」。昭和40年代頃からは作風が一転、青を主体として、静寂に満ちた森の木々や、雲間や水辺からあふれる月の光などを叙情性豊かに描きました。



「北国の春」 昭和47年(1972)
石川県立美術館蔵

さらに平成時代に入ると、作風は新たな展開をみせます。金沢やヨーロッパの古い都市などを俯瞰的に描き、画面内に人びとや動物などを小さく配することによって、そこに住む人々の日常、いとなみを表しました。いわばこの頃は「街の時代」といえるでしょう。

そして近年、氏の視線は再び大自然に向けられ、国内の山々などを強いタッチ、明快な色調で描き、時節によって千変万化するその雄大さ、美しさを描き続けています。

こうした制作活動の一方、氏は母校である金沢美術工芸大学で教鞭をとり、多くの後進を育てるとともに（現在同校名誉教授）、石川県日本画会、石川県日本画協会への参加や、石川県美術文化協会事務局長を長年つとめるなど、郷土石川県の美術振興にも尽力。その功績により、平成7年（1995）に石川県文化功労賞、同18年には地域文化功労者表彰を受賞しました。

本展では、日展初入選作より近作まで氏の代表作を中心に、様々な風景のスケッチを加え、計28点を展示、そのあゆみを紹介しています。



「路地」 平成2年(1990)
石川県立美術館蔵

◆中町進氏によるギャラリートーク

日時 10月13日（土） 午後2時
場所 当館第2展示室（中町進展）会場

※事前申込は不要ですが、参加には観覧券が必要です。

草花づくし

※会期は「日本画家・中町 進展」と同じです。

◆第1展示室

ある時は可憐に、またある時には力強さをみせてくれる様々な草花。私たちの身近な存在として、美術工芸品に表現されてきました。

実際、当館所蔵品約600点のうちにも、草花を取り入れた作品が多くみられます。

本展では所蔵品の中核「池田コレクション」などより、草花が描かれた様々な作品を、絵画や工芸を中心に展示しています。



「織部輪花南瓜葉文鉢」
（池田コレクション）



「マジオリカ壺の薔薇」
高光一也

【長谷川等伯作品特別展示】

近年、大いに盛り上がりを見せている長谷川等伯（1539～1610）。期間中、等伯若年期の仏画2点を特別展示しています。

- ①「十六羅漢図」1幅（七尾市・霊泉寺蔵）
- ②「愛宕権現図」1幅（当館蔵）

※ともに石川県指定有形文化財



「十六羅漢図」
長谷川信春（等伯）

◇共通観覧料

	一般	個人	団体
大高生	500円	350円	300円
中学生以下無料・団体は20名以上です。			

※中学生以下無料・団体は20名以上です。

老若男女・人物を楽しむ

12月21日(金) ～ 平成25年2月11日(月・祝)

◆第1展示室

遠所を旅行しても、近所を散歩していても、ちよつとまわりを見わたすと、そこには必ず「ヒト」がいます。また、家に一人いても、テレビやパソコンをつければ、そこでやはり多くの「ヒト」を見ることでしょう。

今や全世界で70億人といわれる「ヒト」。しかし、全く同じ「ヒト」は一人として存在しません。性別や年齢、人種や国籍、容姿や体格、そして性格など、一人一人が個性を持っています。「十人十色」ということわざが示すとおり、それぞれがいわば「オリジナル」なのです。

その「ヒト」たちがみせる時々の姿、そしておりなされる様相は、美術工芸品にとっても格好のモチーフです。有史以来、これまで有名無名・実在架空問わず、数多くの魅力的な人物たちが作品を彩ってきました。

本展では、当館所蔵品より様々な「ヒト」たちが表現された作品を紹介します。

なお、本展内で長谷川信春(等伯)筆「陳希夷睡図」を特別展示します。



「維摩居士図」
狩野芳崖
(池田コレクション)



石川県指定有形文化財
「陳希夷睡図」
長谷川信春(等伯)

季節を感じる作品たち

※会期は「老若男女・人物を楽しむ」と同じです。

◆第2展示室

記録的な暑さだった今年の夏も過ぎ、秋の気配が濃厚となってきた今日この頃。どんな酷暑でもいつかは過ぎ去り、やがて寒い季節を迎えます。春夏秋冬と変化していく四季。春は桜・夏は海・秋は紅葉・冬は雪というように、季節はそれぞれに豊かな風情を感じさせてくれます。

日本の生活は、古来より四季の変化に大きな影響を受けており、人びとは季節に順応する形で、様々な活動を行ってきました。美術工芸品にもそれは反映され、四季にちなんだ作品が数多く制作されています。

本展では「池田コレクション」などより、季節情緒豊かな作品を紹介します。



「織部すずき文徳利」
(池田コレクション)



「織部松鳥図大平鉢」
(池田コレクション)



「四季耕作図屏風」 狩野孝信

◆共通観覧料

	一般	個人	団体
大高生	350円	280円	220円

※中学生以下無料・団体は20名以上です。

参加者大募集!

友の会美術講座

「やさしい篆刻」

独特の味わい深い文字形、絵手紙・書画作品にも見られる篆刻作品の魅力。

今回の美術講座では、毎日書道会や石川県美術文化協会などで活躍されている七尾市在住の書家・大場濯川先生を講師にお迎えし、『雅印』を制作します。

書を嗜む方もそうでない方も、ぜひ本講座に参加してみませんか?お申し込みをお待ちしております!

日時: 平成25年1月20日(日)

午前9時30分～午後4時頃

場所: 楽屋(アートホール横)

指導: 大場濯川先生(書家・石川県書美術連盟理事)

※市民ギャラリーで大場先生の個展(10/5～8)があります。

対象: 当館友の会会員

※会員同伴者1名まで参加できます。

参加費: 2,500円(材料費等)

※友の会会員以外の方は3,000円

定員: 15名(定員に達し次第締切)

持ち物: エプロンまたは汚れても良い上着、軍手、飲料、昼食(館内喫茶室もご利用できます)

募集: 10月7日(日)より電話にて申込受付。

七尾美術館 ☎0767(53)1500

当館所蔵品貸出情報(10月2日現在)

①陶磁器「志野草花文向附」「織部磨手文向附」

●「発見!地域お宝自慢」展

会場: 石川県立歴史博物館

会期: 10月1日(月)〔開催中〕～21日(日)

②彫刻「若き僧S」 渡部浩作

●「能登の彫刻家たち」展

会場: 石川県立美術館

会期: 10月25日(木)～11月28日(水)

市民ギャラリー 展覧会案内

大場濯川書作展

10月5日(金)～8日(月・祝)
最終日は午後4時まで

還暦後の所作が中心。経書、漢詩等より操句し、書は篆隸草と多彩であり篆刻は大作が多く計80余点を出展。瓦当文の模刻印額と書の屏風は圧巻である。同時に北方心泉の書7点も展示。

主催・連絡先 大場濯川 ☎0767(66)0422

七尾能面展2012

10月11日(木)～14日(日)
初日は午後1時から
最終日は午後4時まで

日本の伝統芸能「能」を支える能面は幽玄の美を今に伝えて大変魅力的です。この美しさに魅せられた12人が今年もまた心を込めて制作した女面、男面、鬼神面等の能面約70面を展示します。同時に能面の解説や能面を着ける体験コーナーもあります。どうぞ能面を身近に観賞してください。

主催 面匠会・石川面打同好会
連絡先 森多雪山 ☎0767(22)1207

第8回 七尾市民文化祭

第7回 彩の会&写団のと展

10月26日(金)～28日(日)
最終日は午後4時30分まで

七尾市を中心に活動する洋画グループ「彩の会」と写真グループ「写団のと」の第7回合同展を開催します。計25人の会員が近作約80点を展示発表いたします。どうぞご覧ください。

主催 七尾市文化協会
連絡先 彩の会 加地求 ☎0767(52)1613

MOA美術館七尾・中能登児童作品展

10月18日(木)～21日(日)
初日は午後0時30分から
最終日は午後4時まで

生命を尊ぶ心、心ゆたかな人間形成を願いに、未来にはばたく子どもたちに、夢と希望を与える入賞作品を展示させていただきますので、ぜひ鑑賞ください。10月21日(日)10時より美術館アートホールにて入賞者の表彰式を行います。

主催 (財)エム・オー・エー美術・文化財団
連絡先 MOA美術館七尾・中能登児童作品展実行委員会 ☎0767(53)3914

第58回 七尾市美術展覧会

11月1日(木)～4日(日)
最終日は午後4時まで

一般部門「日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真」の6部門、ジュニア部門「絵画・習字・写真」の3部門の公募による美術展覧会です。『伝われ感動』個性あふれる作品をぜひ鑑賞ください。

入賞者の表彰式は11月3日(土)午後1時30分より美術館アートホールにて行います。
主催 七尾美術作家協会(会長・吉田隆)
連絡先 橋本義則 ☎0767(53)3011

第67回 北國写真展七尾展

12月22日(土)～24日(月・祝)
最終日は午後4時30分まで

今年で69回目、歴史の重さを感じます。今度はどうな構図で、どんな被写体で、見る人を感動の渦に引き込むのであろうか心待ちにしたい。唯々早く作品と対面したい。どうぞご期待ください。

主催 北國写真連盟・北國新聞社・富山新聞社
連絡先 宮崎功 ☎090(4320)2178

アートホール催し物案内

長谷川等伯絵画・感想文コンクール表彰式

10月8日(月・祝) 開式 午後2時

七尾出身の画聖、長谷川等伯を顕彰するため全国から応募された絵画・感想文の秀作を称える表彰式です。多くの方のご来場をお待ちいたしております。

主催・連絡先 コンクール実行委員会(北國新聞社七尾支社) ☎0767(53)1881

第10回 日本医療マネジメント学会

10月20日(土) 開演 午後1時45分

医療関係者や一般の皆様が対象の、職場における業務改善に関する学術大会です。今回は「チーム医療に明日」をテーマとし、特別講演に福井県済生会病院の事務副部長の齋藤哲哉氏をお招きし、「職員満足度向上の取り組み」についてご講演いただきます。是非ご参加下さい。

入場料 1,000円
主催 社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院
連絡先 医療秘書課 前多亜佐子 ☎0767(52)3211

第8回 七尾市民文化祭

山原昌娃きもの着付学院きもの着付けショー

11月4日(日) 開演 午後2時

きものを着る、着せる。楽しい着付けショーを開催します。着物の格や季節によるきものについての説明があります。成人式にむけて振り袖のお袖の扱いもご覧いただければと思います。

主催 七尾市文化協会
連絡先 山原昌娃 ☎0767(52)1625

第8回 七尾市民文化祭

鈴英会おさらい会と英桃太郎舞踊ショー

11月11日(日) 開演 午後0時30分

会員各々日頃の練習の成果をおさらいすると共に、指導者「英」の華麗なる歌謡舞踊ショー「父母の追悼を込めて」を七尾民謡会の協力を得て行います。どうぞお気軽にご来場ください。

主催 七尾市文化協会(主管・鈴英会)

連絡先 鈴英会 丸田みどり ☎090(4808)3801

まちづくり市民講座3

総参加で感動の地域再生

11月12日(月) 開演 午後6時

土着菌を利用したカライモ栽培からの「焼酎造り」、空き家を改修して芸術家の活動拠点を提供する「迎賓館」など、鹿兒島県やねだんの豊重哲郎自治公民館長による地域づくり講演会です。

主催 七尾市

連絡先 七尾市市民男女協働課 ☎0767(53)8633

第178回例会 パントマイムプラネット公演

チカパンのいっしょに。パントTIME!

11月23日(金・祝) 開演 午後7時

人を幸せにするパフォーマー・チカパンの不思議で楽しい「カラダ」の遊び。笑い、驚きながら親子一緒に愉快なひとときを過ごしませんか?

当日入会の方も入場できます。

主催・連絡先

七尾市子ども劇場 ☎0767(52)0821

※水・金 午前10時〜午後3時のみ連絡可。

リトルウイング

ピアノ・エレクトーン発表会

11月25日(日) 開演 午後1時30分

練習の成果を発表する場として、2年に1度開催しています。幼児から大人までの生徒たちがお気に入りの一曲を演奏します。どなたでもお気軽にご来場ください。

主催 前田ゆかり・中口幸月

連絡先 前田ゆかり ☎0767(52)9943

シンポジウム

盆踊り「日蓮尊者地獄巡り」で「まちおこし」

12月1日(土) 開演 午後2時30分

「母を捜して地獄巡り」が由来の盆踊りが、果たして「まちおこし」のキッカケになるのでしょうか? 盆踊りの実演、講演、パネルディスカッションを通して、考えてみましょう!

主催 七尾エンヤワッショイ街巡り実行委員会

連絡先 春木 憲 ☎0767(53)0005

dolce ピアノコンサート

12月2日(日) 開演 午後1時30分

小学生から大人まで年に1度のピアノ発表会です。タランテラ特集やフリーアナウンサーの平見夕紀さんの読み聞かせとピアノのコラボもあります。どなたでもご来場ください。

主催 ピアノグループdolce

連絡先 井藤真理 ☎0767(58)1253

ひまわり保育園おたのしみ会

12月9日(日) 開演 午前9時30分

子ども達が楽器演奏や和太鼓、劇あそび等を発表します。子ども達が表現する事を楽しみ、保護者が子どもの成長を感じられる会にしたいと考えています。ぜひご覧ください。

主催・連絡先 ひまわり保育園 ☎0767(57)2800

小丸山保育園ちびっこ発表会

12月22日(土) 開演 午前9時30分

小丸山保育園では年2回の発表会を催します。今回は美術館のアートホールで、各クラスから子ども達のクリスマスの楽しい発表があります。皆さんで見に来てくださいね!

主催 社会福祉法人小丸山保育園

連絡先 島崎和子 ☎0767(53)3700

監視ボランティア

研修旅行に参加して

仲島 弘美

初めて研修旅行に参加しました。今年は地元七尾で、最初の見学先は架橋30年の能登島大橋を渡り、開館21年目の石川県能登島ガラス美術館に到着。「華麗なるガラスの一族」展を鑑賞したあと、ワークショップでルーターを使ってガラスを削り、夢中でオリジナルグラスや写真立てを作成しました。私は大仏様の絵柄にしたところ、家族に大ウケ・大爆笑でした。何故? 髪型、ほくろが私とほぼ同じ…。

お楽しみの昼食は市内の割烹料理「北山」で、予算大丈夫! のお料理に満足、満腹、完食しました。午後の見学先その1は、日蓮宗遠壽山本延寺。長谷川等伯の生家、奥村家の菩提寺。雑誌「芸術新潮」で見た山門、位牌堂に安置された等伯26歳の時に彩色寄進した「木造日蓮聖人坐像」を見学でき、感動しました。

見学先その2は、曹洞宗休岳山長齡寺。前田家の菩提寺。利家が能登において唯一建造した寺院。見学先その3は、真言宗小嶋山妙観院。山門前まで海だった頃(明治時代)の妙観院が描かれた貴重な絵図のコピーをいただき、副住職からの詳しい解説を拝聴したあと、境内を案内していただきました。七不思議伝説が有名であり、少年時代に体験した話も聞くことができて楽しかったです。そして副住職のおもてなしの心へも合掌。

身近な七尾で、ガラス作品を作り、美味しい食事をいただき、寺院の歴史にもふれ、参加した皆さんと楽しく過ごせたことに感謝します。



小嶋山妙観院にて



これからの展覧会予定



平成25年2月23日（土）～4月7日（日）

◆第1展示室 「茶道具いろいろ～池田コレクションを中心に～」

桃山時代に千利休によって大成され、以後数百年の歴史を持つ、日本の代表的伝統文化である「茶道」。そこで使用される茶道具は、時代や流派、各人の好みなどが反映され、幾多もの道具が生み出されて茶会などを彩ってきました。本展では「池田コレクション」などより、様々な茶道具を紹介します。



「赤楽山文茶碗 銘暁」
樂 惺入（池田コレクション）

◆第2展示室 「緑色のアート」

「緑色」は光の3原色のひとつ。「みどり」という語は、「瑞々しい」ことが転じて新芽の色を表すようになったから、とされます。また、植物や森林などを指す言葉としても用いられるように、自然の爽やかなイメージを感じさせる色でもあります。本展では当館所蔵品より、緑色を効果的に使用した作品を紹介します。



「飛鳩」上田珪草

《等伯コーナー（特別編）》

当館所蔵の等伯作品に新しい仲間が加わりました!!

当館にとって重要なテーマである長谷川等伯。その作品の充実は開館以来の使命ですが、本年8月、念願かなって久方ぶりに新作品を1点購入することができました。

ニューフェイスの名は「山水図」。軸装で紙に雄大な山水風景が水墨によって描かれた、縦53センチ、横40センチの作品です。正確な制作年はわかりませんが、画面右下に「信春」袋形印が捺されていること、また、描き方に狩野派などの影響が感じられることから、等伯が「信春」を名乗っている頃の、おおよそ30歳代の制作と考えられます。

昭和46年（1971）に美術雑誌で紹介されてから、その後長い間未公開だった本図。今年1月の岡山県立美術館特別展「長谷川等伯と雪舟流」に出品され、所蔵者との交渉の結果、購入に至ったのです。

これで当館所蔵の等伯作品は4点。当館としてはこれからも、等伯や「長谷川派」絵師たちの、作品や史料のさらなる充実を図っていきたい、と考えております。



↑「山水図」。今年の「長谷川等伯展」に出品されましたので、ご覧になった方も多いのでは？



割引、プレゼントなど特典いろいろ / ぜひ当館でもご利用ください。



飛行機……能登空港から能登有料道路利用約45分
車……金沢から能登有料道路利用約1時間15分
タクシー……JR七尾駅から約5分
徒歩……JR七尾駅から約20分
市内循環バスまりん号
……JR七尾駅前「ミナ、クル」ビル裏バス停から西回り「七尾美術館前」下車
なおコミュニティバスぐるっと7
……JR七尾駅5番乗り場から西コース「小丸山台1丁目」下車

休館日のお知らせ

10月～12月

◆10月 1, 9, 15, 22, 29～31

◆11月 5～8

◆12月 17～20, 25, 29～31

◎次号・第72号（冬号）は1月1日発行予定です。